

【概要】

1. 新規採用薬 : 該当なし
外来限定採用 : メホビル / 滋陰降火湯 / マンジャロ 10mg / ジェノゲスト 0.5 mg / ストミン A
2. 供給
3. 採用変更
4. 添付文書改訂
5. 添付資料

1. 新規採用

①院内採用 該当なし

②外来患者限定採用

選択的 DPP-4 阻害薬／ビグアナイド系薬配合剤

メホビル配合錠 LD「トーフ」 22.6 円/錠

【組成】ビルダグリプチン 50mg / 日局 メトホルミン塩酸塩 250mg

【効能効果】2 型糖尿病

ただし、ビルダグリプチン及びメトホルミン塩酸塩の併用による治療が適切と判断される場合に限る。

ツムラ滋陰降火湯エキス顆粒 17.9 円/g 2.5g/包

【組成】本品 7.5g 中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス 5.5g を含有する。

日局ソウジュツ 3.0g 日局ジオウ 2.5g 日局シャクヤク 2.5g 日局チンピ 2.5 g 日局テンモンドウ 2.5g 日局トウキ 2.5g 日局バクモンドウ 2.5g 日局オウバク 1.5g 日局カンゾウ 1.5g 日局チモ 1.5g

【効能効果】 のどにうるおいがなく痰が出なくて咳こむもの

【用法用量】 1 日 7.5g を 2～3 回に分割し、食前又は食間に経口投与

持続性 GIP／GLP-1 受容体作動薬

マンジャロ皮下注 10mg アテオス 7696 円/10mg0.5mL1 キット

【組成】 1 キット中 チルゼパチド 10mg

【効能効果】 2 型糖尿病

月経困難症治療剤

ジェノゲスト錠 0.5mg「モチダ」 38.7 円/錠

【組成】 1 錠中 ジェノゲスト 0.5mg

【効能効果】 月経困難症

耳鳴緩和剤

ストミン A 配合錠 6.3 円/錠

【組成】1 錠中 (日局)ニコチン酸アミド 30mg (日局)パパベリン塩酸塩 6mg

【効能効果】 内耳及び中枢障害による耳鳴

2. 供給

●出荷調整

- ・ガストログラフィン経口・注腸用：暫定管理値を超えるニトロソアミン類検出による出荷調整。欠品見込み。
→明確な代替なし。現在使用部署とメーカーに代案確認中。
- ・クロマイ腔錠 100 mg：原薬入荷遅延の影響により在庫消尽次第一時出荷停止
- ・注射用サイメリン 50mg・100 mg：在庫消尽次第一時供給停止

●販売中止

- ・アメジニウムメチル硫酸塩錠 10mg「トーフ」：2026 年 11 月在庫終了予定
- ・ミルラクト細粒 50%：経過措置 2027 年 3 月 31 日予定
- ・セタプリル錠 25mg：2027 年 2 月頃出荷終了予定
- ・ブスコパン錠 10mg：在庫消尽次第販売中止、経過措置 2027 年 3 月 31 日予定
- ・ウロマチック S 泌尿器科用灌流液 3%：在庫消尽次第販売中止

●供給再開

- ・ウログラフィン注 60%

3. 採用変更 ※①-③：在庫消尽次第切り替え ④：在庫消尽次第終了 ⑤：マスタ閉鎖

①内服

- ・ブスコパン錠 10mg(6.3 円/錠) → ブチルスコポラミン臭化物錠 10mg「ツルハラ」(6.6 円/錠)
[後発品から後発品への変更]
- ・アメジニウムメチル硫酸塩錠 10mg「トーフ」 → 「日医工」
- ・塩化カリウム「フソー」(13.1 円/10g) → 「ヤマゼン」(8 円/10g)

②注射

- ・ビーエスエスプラス 500 眼灌流液 0.0184% ボトル製剤 → バッグ製剤（容器変更）

③外用 該当なし

④院内採用終了（在庫消尽次第採用終了）

- ・スポンゼル(7 cm×10 cm)：2026 年 3 月 31 日経過措置のため

⑤院外採用終了 ※経過措置薬品は経過措置日にマスタ閉鎖

- ・アモキシサンカプセル 10mg：2 年使用歴なし、27/3/31 経過措置
- ・アモキシサンカプセル 25mg：2 年使用歴なし、27/3/31 経過措置
- ・シングレア細粒 4mg：2 年使用歴なし、27/3/31 経過措置
- ・トラニラスト DS5%「CH」：2 年使用歴なし、27/3/31 経過措置
- ・ビクトーザ皮下注 18 mg：2 年使用歴なし、27/3/31 経過措置
- ・ミルラクト細粒 50%：2 年使用歴なし、27/3/31 経過措置

4. 添付文書改訂

コルヒチン錠 0.5mg「タカタ」

●6.用法及び用量 変更

＜痛風発作の緩解＞

1 回 0.5～1.0mg を 1 日 1 回又は 2 回経口投与する。ただし、1 日の総投与量は 1.5mg を超えないこと。

イミフィンジ点滴静注 120mg,500mg

●4.効能又は効果 追加

胃癌における術前・術後補助療法

リツキシマブ BS 点滴静注 100mg,500mg「ファイザー」

●4.効能又は効果 追加

○下記のネフローゼ症候群

・頻回再発型あるいはステロイド依存性のネフローゼ症候群

○自己免疫性溶血性貧血

○持続性及び慢性免疫性血小板減少症

フェインジェクト静注 500mg

フェジン静注 40mg

●8.重要な基本的注意

8.1 本剤の投与により、低リン血症があらわれ、骨軟化症に至ることがあるので、投与開始前はやむを得ない場合を除き血清リン値を測定すること。また、投与中も定期的に血清リン値を測定し、必要に応じてリンの補充を行うことを検討すること。関節痛、骨痛など骨軟化症を疑う症状があらわれた場合は、処方医に相談するよう、患者に指導すること。（11.1.2 参照）

●11.1 重大な副作用

11.1.2 低リン血症、骨軟化症（頻度不明）

低リン血症があらわれ、骨軟化症に至ることがある。（8.1 参照）

マンジャロ皮下注 2.5mg,5mg,7.5mg,10mg,12.5mg,15mg アテオス

●9.1 合併症・既往歴等のある患者 追加

9.1.6 全身麻酔又は深い鎮静下の患者

GLP-1 受容体作動薬又は GIP/GLP-1 受容体作動薬を投与中の患者において、術前の絶食指示を遵守したにもかかわらず、全身麻酔又は深い鎮静下で誤嚥が生じた症例が報告されている。本剤は胃内容物排出遅延作用があり、胃内容物残留リスクが高まるおそれがある。（18.2.6 参照）

アレックスビー筋注用

●5.効能又は効果に関連する注意 新設

本剤は母子免疫による新生児及び乳児におけるRSウイルス感染症の予防に対する適応はない。

ダイフェン配合顆粒,配合錠

バクタラミン注

●11.1 重大な副作用 追加

急性汎発性発疹性膿疱症

レプロジル皮下注用 25mg,75mg

●14.1.2 溶解方法 下線部追加

(3)バイアルを反転させ、反転の状態で30秒間緩やかに回転させて、その後バイアルを立てた状態に戻し、30秒間静置する。同様の操作を必要に応じて更に7回まで繰り返し、バイアル側面に付着した粉末を完全に溶解する。バイアルは振とうせず、激しく攪拌しないこと。

5. 添付資料

医療安全情報 No.235 「2025年に報告書で取り上げた医療安全情報」

医薬品・医療機器等安全性情報 No.429